

地学(1) 2015 前期末試験問題 (山崎・萩谷担当 共通問題)

以下の問題 1～8の中から自由に4問を選んで解答しなさい。解答は、問題番号を明記し、各問5行程度を目安として解答用紙に記入すること。解答の順序は問わない。必要があれば解答用紙裏面に記入しても構わない。問題が小問に分かれている場合はそれらのすべてを答えること。ノート・参考資料等持込不可。問題用紙の提出は不要である。

1. 日本で産出する地下資源について、2種類を選び、それぞれそのできかたを説明せよ。
2.
  - a) プレート境界の種類を3つ挙げ、そこで生じる地震の規模や深さについて、それぞれ説明せよ。
  - b) プレート境界型と異なる内陸型地震にはどのような特徴があるか、説明せよ。
3. 地質時代はどのような基準で分けられているのか、例を挙げて具体的に説明せよ。
4.
  - a) ヒマラヤなどの大山脈の形成と、日本列島の形成について比較し、共通点、相違点を述べよ。
  - b) 月と地球の違いについて説明せよ。
5.
  - a) ハワイ諸島の火山について、地形やマグマの性質、災害の特徴を日本の火山と比較し説明せよ。
  - b) 水蒸気噴火とマグマ水蒸気噴火の違いについて、例を挙げて説明せよ。
6.
  - a) 過去に地球の気候が寒冷化した証拠にはどのようなものがあるか、2つ挙げて説明せよ。
  - b) 大気中に酸素が増加してきた証拠にはどのようなものがあるか、2つ挙げて説明せよ。
7. 地盤における液状化現象について、a) どのような理由で生じるか b) どのような場所で生じるか c) 実際に災害となった例 をそれぞれ説明せよ。
8.
  - a) 隕石は一般にどのような情報を持っているのか、説明せよ。
  - b) 火星に水がかつて表面に大量に存在していたとすると、どのような地層または岩石の証拠が期待されるか。説明せよ。